

報道関係者各位

2026年3月11日

株式会社 JDSC

海運 AI エージェント「AI 番頭」が経産省・NEDO の「GENIAC-PRIZE」 最終審査に選定

～海事領域における AI エージェント活用の先進事例～

このたび、株式会社 JDSC（本社：東京都文京区、代表取締役：加藤 エルテス 聡志 / 佐藤 飛鳥、以下「JDSC」）が開発した船主向け AI エージェント「AI 番頭」が、経済産業省および NEDO が推進する生成 AI の社会実装を目的とした「GENIAC（Generative AI Accelerator Challenge）」のコンペティション「GENIAC-PRIZE」において、「カスタマーサポートの生産性向上に資する国産基盤モデル等を活用した AI エージェントの開発・実証領域」の最終審査対象として選定されました。本取り組みは、海事領域において AI エージェントを実務に組み込んだ先進的な事例として評価されたものです。最終審査は、2026年3月24日に公開形式のプレゼンテーション審査として実施される予定です。

「AI 番頭」について

「AI 番頭」は、船舶運航に関するデータや業務知識、文書情報などを統合し、自然言語での対話を通じて業務を支援する AI エージェントです。海運業界では、船舶運航管理、燃料管理、契約・手続き、法規対応など、多岐にわたる専門業務が存在し、経験豊富な担当者の知識や判断に依存する場面も多くあります。AI 番頭は、こうした海事領域の知識や情報を横断的に参照しながら必要な情報を提示することで、業務効率化と意思決定の高度化を支援します。

「AI 番頭」という名称には、船舶運航を支える“番頭役”として業務を支援する AI という意味が込められています。

日本の基幹産業である海事領域への AI 活用

海運は、日本の輸出入の大部分を支える重要な基幹産業であり、その高度化は日本経済の競争力にも直結する重要なテーマです。

JDSC はこれまで、製造業、物流、エネルギーなどの産業領域において AI・データサイエンスの社会実装を推進してきました。その中でも、日本の基幹産業の一つである海事領域において、データ活用による競争力強化を重要なテーマとして位置づけています。

産業領域における AI エージェントの活用

近年、生成 AI の進化により、業務知識やデータを組み込み、意思決定や業務プロセスそのものを支援する AI エージェントの実用化が進みつつあります。

JDSC では、産業領域における AI エージェントの社会実装を重要な戦略テーマの一つとして位置づけ、各業界の業務知識やデータを組み込んだ実用的な AI エージェントの開発を進めています。今回の AI 番頭は、カスタマーサポートに専門知識を必要とする海事領域において AI エージェントを実務に組み込んだ取り組みの一例です。既に海事領域では、100 万ページを超える文書を参照して回答を提示する AI エージェントとして運用されています。今後さらに機能を強化し、各産業領域への展開を進めていきます。

JDSC は今後も、パートナー企業との共創を通じて、日本の基幹産業における AI・データサイエンスの社会実装を推進してまいります。また、業界固有の知識やデータ、業務プロセスを組み込んだ AI エージェントの開発を通じて、意思決定やオペレーションを支援する産業 AI の実装を加速し、日本の産業競争力の強化に貢献してまいります。

(参考) GENIAC について

GENIAC (Generative AI Accelerator Challenge) は、経済産業省および NEDO が推進する生成 AI の研究開発・社会実装を促進するプロジェクトです。GENIAC-PRIZE は、生成 AI を活用した先進的な取り組みを対象とするコンペティションで、革新的な AI 技術の実用化を目指すプロジェクトが選定されます。

以上

■株式会社 JDSC について <https://jdsc.ai/>

JDSC は、生成 AI・機械学習・数理最適化などのデータサイエンスと先端技術を核に、製造・物流・エネルギー・ヘルスケア・公共などの基幹産業に対し、課題の特定からアルゴリズム開発、システム実装・運用までを一気通貫で支援するテクノロジーカンパニーです。社会課題および産業の共通課題の解決を通じ、日本の産業アップグレードに貢献します。



《JDSCの3つの特徴》

1. データサイエンス/AIを中心とする専門家チームと、豊富なプロジェクト実績
2. 課題特定からPoC、AIモデル開発、現場実装・定着までを一貫して伴走する「三位一体」の変革アプローチ
3. 大手企業との共創（Joint R&D）で蓄積したAI技術アセットを、複数産業へ横展開する生産性の高いビジネスモデル

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社 JDSC 広報担当 info@jpsc.ai